

第1回「地域フォーラム」概要

開催テーマ 「奈良のまちづくり」

日時 令和4年6月4日(土) 10時00分～12時00分

会場 下市観光文化センター

資料説明	荒井奈良県知事
	<p>昨日、参加したリニア中央新幹線建設促進期成同盟会総会で、リニア中央新幹線の名古屋以西の駅の位置決定に必要な環境アセスメントの開始に関し、骨太の方針の原案に記載されたことについて、お話しさせていただきました。これが閣議決定されれば、3～4年以内に名古屋以西のリニア中央新幹線の駅の位置が決まる可能性があるということ、大きなことです。</p> <p>また、その総会場で、リニア中央新幹線の伊丹空港までの延伸の検討をお願いしました。海外から伊丹空港に来て、リニア中央新幹線で「奈良市付近駅」まで来るようなことができれば、インバウンド客の奈良へのアクセスがすごく良くなります。</p> <p>こういった国の動きにも関係しますが、本日は、奈良県のまちづくりをテーマにお話しさせていただきます。</p> <p>まず、奈良県の地域特性としては、幹線道路とつながっていないことが特徴です。東西の国土軸はこの紀伊半島を走っていませんし、新幹線の駅などありません。</p> <p>しかし、いよいよ、リニア中央新幹線という鉄道の新しい国土軸につながる駅が奈良にできます。また、京奈和自動車道の整備もかなり進んできており、さらには、2000メートル級の滑走路を要する大規模広域防災拠点ができます。</p> <p>これまで無かったものが、15年以内にできることになってきました。この15年以内の構想が、奈良県にとってとても大きなことだと思っています。</p> <p>一方、地域のまちづくりでは、この地域に限ったことではありませんが、地域を振興させるのは、工場誘致、観光などによる交流人口の増加、流通拠点の形成の3つの経済要素です。工場を誘致するには、アクセスの良い道路が必要です。観光などによる交流人口の増加には、鉄道によるアクセスのほかに、魅力的な観光地づくりが必要であり、特に観光地は常に投資をして変えていかないと競争に負けます。流通拠点の形成には、流通システムの構築とアクセス道路が必要です。</p> <p>また、昨年度この地域を含む南部・東部地域の振興に関する条例を制定しました。この条例をどのように動かしていくかについて、住民の方からのアイデアも参考に推進したいと考えています。</p>

資料説明	中井吉野町長
	<p>吉野町の課題として、①人口減少・若手人材の不足、②企業数の減少、③空き家の増加が挙げられます。これら3つの課題解決にあたっては、森林環境の適正化と民間活力の導入の2つのキーワードがあると考えています。</p> <p>まず、森林環境の適正化では、「植えて」「育てて」「切って」「使う」というサイクルがあり、人を育てない限り、このサイクルは生まれません。このサイクルを生み出すための人材育成にしっかり力を入れていきたいと思っています。</p> <p>また、令和3年4月にフォレスターアカデミーが吉野町内に開校されました。現在、20名程度が入学され、在校生の中には、吉野町に住みながら活動されている方もいます。</p>

町でできることとして、地域住民の方々と触れ合い、地域の歴史などを学んでいただく機会を設けたり、賃貸住宅への改修事業補助金制度など独自の支援を行っています。

一方、民間活力の導入では、空き家バンク制度や、吉野町で働いたり、起業する際の補助金助成制度などをそろえ、しっかりと転入者や事業者に対しての支援を進めていきたいと思っています。さらに、空き家を活用した移住・テレワーク推進の施設ができたことにより、地域の方とのつながりが生まれ、関係人口を生み出す大きな基軸になっています。

また、今年の4月22日には、地域の事業者の方がビジネスマッチングやDXなど、様々な企業の方と産業を創出していく拠点として、官民連携でサテライトオフィス・ワーキングスペースを設置したYOSHINO GATEWAYをオープンさせることができました。

先ほどの3つの課題をチャンスにしていくためには、「人」「民間活力の導入」「森林環境の適正化」という3つのサイクルにより、未来のために今できることをしていくことが重要だと考えています。

今後も南部3町で力を合わせて、地域の振興に取り組んでまいりたいと思います。

資料説明	岡下大淀町長
<p>大淀町では、①人口減少社会を見据えたまちづくり、②高齢化問題を克服するための対策、③若者世代、子育て世代が将来に希望を持てる支援、④持続可能な財政基盤の構築、⑤産業の振興と雇用の場の創出、⑥安全で安心なまちづくり、⑦快適で魅力ある都市拠点づくりが主な課題となっています。</p> <p>これらの課題を克服するために、町では、第4次大淀町総合計画の後期基本計画と第2次大淀町地方創生総合戦略を策定しました。基本理念と目指すべきまちづくりの将来像、「来たい、住みたい、住み続けたいまち 大淀町」の実現に向け、①子育て支援・少子化対策プロジェクト、②下市口駅周辺まちづくりプロジェクト、③学校教育環境の充実プロジェクト、④行財政基盤強化プロジェクトの4つを重点プロジェクトとして位置付けました。</p> <p>このプロジェクトにも関係しますが、旧大淀病院跡地の整備を先行して進めており、解体工事が、5月31日に完了しました。跡地に設置する認定こども園については、令和7年4月の開園に向け、昨年度より設計業務を進めてきました。町の子育て支援の新たな拠点として、魅力ある施設としたいと考えています。</p> <p>また、同敷地内には地域住民の暮らしに身近な民間施設を誘致するほか、地域活性化エリアとしての空間整備を計画しています。多くの人が集い、にぎわいあふれる場として生まれ変わりますので、ご期待いただきたいと思います。</p> <p>これまで町では、総合計画に掲げる基本理念の実現に向け、まちづくりに取り組んできました。まちづくりの実現には、行政はもとより、町民の皆さまをはじめ、様々な方々のご理解とお力添えが必要です。引き続き、協働、共有、共感の理念の下、彩り豊かなまちとなるよう努力してまいります。</p>	

資料説明	杵本下市町長
<p>下市町の課題として、①国道309号を通過する年間約70万人の観光客を町内に誘引できていないこと、②空き校舎が増加していること、③町全体の拠点となるような施設がないことが挙げられます。このような課題解決に向けて、既存施設や空き家の活用、民間活力・アイデア・ノウハウの活用、地域・住民や町内の事業者との協働の3点を軸に、にぎわいの拠点づくりを中心としたまちづくりを進めています。</p> <p>既存の拠点としては、アート教室やワークショップ、ゲストハウスとして利用予定である旧広橋小学校や、元地域おこし協力隊隊員が工房を立ち上げた旧秋野小学校、住民にとって利便性の高い拠点であるならコープ下市ステーションがあります。</p> <p>また、来年4月に開校する下市あきつ学園では、住民との交流ができる地域開放室の設置やSDGsの理念を踏まえた郷土学習「下市学」など既存の教育のさらなる充実などを進めています。</p> <p>そして、この開校に伴い発生する2つの空き校舎については、ITを活用した地域交流、観光客の誘引と新たな来訪者を呼び込む拠点として利活用を進めています。これら以外の空き施設の活用については、旧阿知賀小学校は、地産地消の拠点として、アメニティセンターは、ゲートウェイ拠点として検討を進めています。</p> <p>町では、地域・住民と協働し、また、協議会を立ち上げ、県との連携や協定も視野に入れ、町全体のにぎわい創出につなげていきたいと考えています。ふるさとが人を育み、人がふるさとをつくと考えており、誰もが「このまちに生まれて良かった」、「このまちに住み続けたい」、「このまちに戻りたい」、「このまちを新たなふるさとにしたい」と心から思える、そんな元気なふるさとの実現に向け、前に進めていきたいと思っています。</p>	

意見	荒井奈良県知事
<p>3町共通の課題は、人口減少です。南部・東部地域は、日本でも人口減少が激しい地域であり、特に若者の流出が激しくなっています。</p> <p>若者の流出を食い止めるためには、雇用の創出が必要です。工場を誘致すると、工場立地の周辺に若者の雇用が発生します。この地域からは、御所や五條に通うことができるので、こういった地域に工場を誘致することが一つの方策になります。</p> <p>その他の方策としては、観光になりますが、消費の拠点をつくることが考えられます。本日の発表を聞くと、3町共通の観光素材は吉野川だと思います。吉野川親水空間づくりで3町がまとまると、県も応援できると思います。</p> <p>消費の拠点の成功事例として、三重県多気町に、VISONという民間の観光施設ができています。高速道路のインターチェンジ直結というだけで山の中が開発され、毎日すごいにぎわいです。コンセッション方式で実施したら、ほとんど民間が実行しているそうです。</p> <p>そのような民間活用が吉野川でできるかどうかというのが、吉野川観光交流拠点プロジェクトというテーマの狙いです。環境整備をして、3町が揃って「ここだ」と言える大きな敷地があれば、コンセッションを受ける民間企業に話ができると思います。</p>	

もう一つ大事なものは、アイデア募集というプロセスです。民間のアイデア、住民のアイデアを受けると、行政の課題が明確になります。これもまちづくりの大きなプロセスと認識しています。

地元の重要な情報を住民の皆さまからいただくことは、一番大事であり、このようなフォーラムの目的です。吉野川を利用した観光交流拠点の展開というアイデアを本日申し上げましたので、3町の今後の取組に期待したいと思います。